

春王者八学大 白星発進

北東北大学野球

北東北大学野球秋季リーグが17日、1と2部をろって開幕し、2球場で計6試合を行った。1部は青森市の県営球場で行い、春季リーグで頂点に

立った八戸学院大が青森大との開幕戦を7-4で制した。そのほかの1部は、青森中央学院大が、七回から計11点を挙げる富士大の猛攻に2-11で敗れた。盛岡大は5-4でノースアジア大を制した。2部は八戸工業大が岩手県立大を18-0でゴールド勝ちした一方、弘前大が岩手大に0-9で、青森公立大が秋田大に2-4の十回タイブレークで敗れた。県営球場では、18日も1部の3試合を行う予



【八学大-青森大】5回途中から登板し、9回まで無失点で好投した八学大の西山一県営球場

西山 無失点リリース

○：「自分が試合を引っ張るといっ思いでマウンドに立った」。最後の打者を打ち取ると、八学大の西山は笑顔でガッツポーズを見せた。五回途

中から登板し、九回まで無失点、被安打わずか1本で投げきった。序盤は接戦だったものの「焦らず普段の練習通り投げられた」と振り返る。切れのある直球と、鋭いコースへの変化球を

織り交ぜ、得意のチェンジアップで仕留める好投が最後まで青森大の打線を苦しめた。明日も対戦する青森大との試合に向けて「油断せずに臨みたい」と気を引き締めた。

適時打も納得いかず

○：八学大の平尾は六回2死一、三塁の場面で「負けてたまるか」と強気で打席へ。狙い通り内角の直球を右方向に放ち2点を追加、7-4とリードを広げたが、長打にはならず納得のいかない



【八学大-青森大】6回表、2死一、三塁で八学大の平尾が右への2点タイムリーで7-4とリードを広げる様子だった。「学校に戻り打撃練習をして明日に向けた修正をする」と意気込んだ。

定。
(木村真悠)